



K-I-F-A Plaza

第22号

1994年10月28日発行

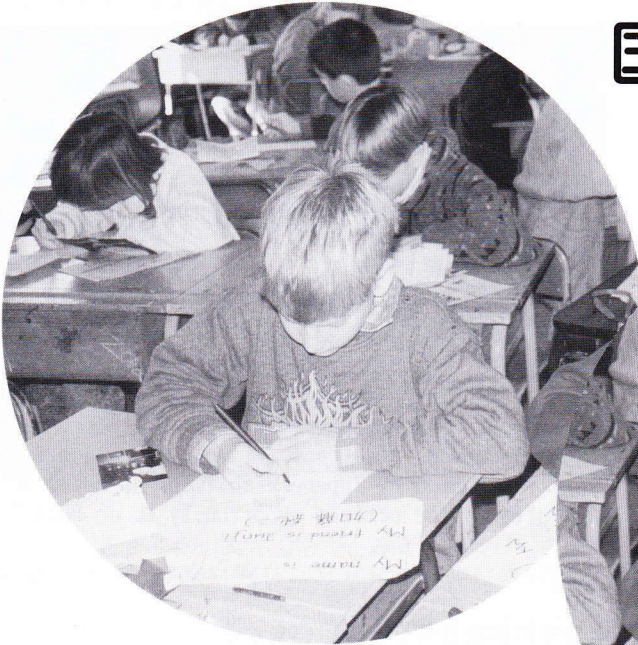
〈発行〉

鎌ヶ谷市国際交流協会

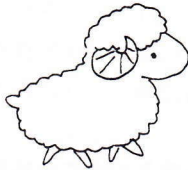
編集・広報部

- * An introduction of the new A.L.T., A barbecue party (page 2-3)
- * Kamagaya teachers visit Whakatane (page 4-5)
- * Volunteer Translators take Hato Bus Tour, A cooking lesson (page 6)
- * Readers Column (page 7) Miscellaneous Information (page 8)

国際交流への 小さな一歩

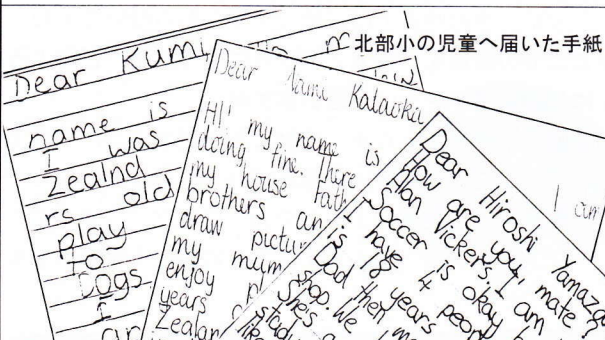


北部小のペンフレンドへ
ワカタネより心をこめて！



A LITTLE STEP TOWARD INTERNATIONAL FRIENDSHIP

Sixth graders of Hokubu Elementary School now have their own penpals in Whakatane. Ms. Meiko Nakayama, their teacher, had made them write letters in English and took them with her when she visited New Zealand. Then she brought back about 130 reply letters from Whakatane to her Students. She spent her time translating each of the letters into Japanese before they were given to her students. It must be hard work. Such efforts will help to build international friendship. (For more information, see pg. 4 & 5).



小さなプレゼント

北部小学校6年生児童に英語の手紙を書かせることは無理があることだと分かっていた。しかし、このチャンスを逃すことは、あまりにもったいないことと思えました。そこで英語の手紙の例文をプリントしたり、受け取った手紙を日本語に訳したり……。言葉の壁はどうしようもなく大きいのですが、互いに魅力ある友だちに会えるために文通を続けてほしいのです。

(中山明子)

ノーフ先生の授業を見学させて頂きました

(五中、2年1組の教室にて)



Mr. Mark Knauf, a new Assistant Language Teacher says "I want to study how children learn and I am very fascinated by Japanese culture, so being an ALT offered the perfect opportunity to do both."

☆☆

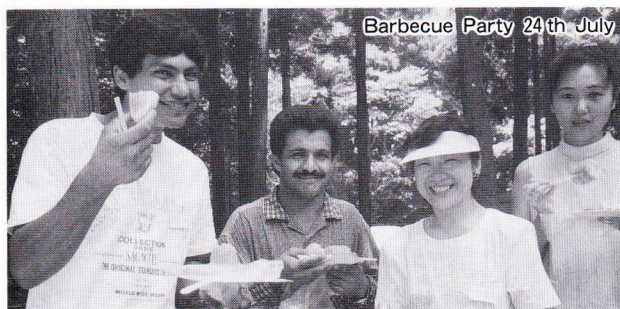
インタビュー

前にも言いましたが、子供たちがどのように学んでいくかを研究したいと考えていますから、ここでの経験はそれを理解する上で大いに役立つはずです。アメリカに帰ったら大学院でこの研究を続けるつもりでいます。

一市民の森に交流の輪一

バーベキューパーティ

7月24日、猛暑の中、交流部会担当のバーベキューパーティが催されました。メインゲストは、韓国からの留学生2名の方々と、地域の外国人の方々や KOREA 研究会の方々の参加も得て、9カ国50名以上の参加となりました。バーベキューが始まるとあちこちで歓談の輪ができました。食事のあとは、アコーディオンの伴奏に合わせて全員で大合唱、アリランなどお国自慢の歌も飛び出して盛り上がったところで、フォークダンスも始まりました。ダンスで汗をかけた後は、スイカ割りゲーム、初めての経験らしい外国のお客様たちは、子供のように大はしゃぎでした。全員で楽しい一日を感謝しました。



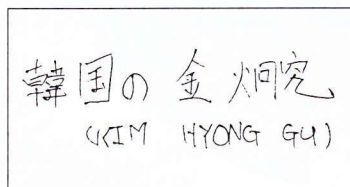
ゲストからのメッセージ

たいへんあつかったんですが、みどりいっぱい森の中で、いろんな国のわかものたちと、ふれあうことができました、ほんとうによかったと思います。やきにくもおいしかったです。すごくみじかい時間でしたが、とてもたのしかったです。



日曜日にあったパーティは、ほんとうに思いの外に、びっくりした。なぜならば、はじめは KOREA 研究会の人達だけ、くるのじゃないかと考えましたが、行った時に、他の外国人とおおぜいの日本人を見て、びっくりした。また、こんなパーティがしばしばじゃなくて、私達がくる時にあったのが、ほんとうによかったと思います。こんどの旅にこんなきかいがあったのが、ほんとうによかったです。ありがたいきが心の中にいっぱいです。

どうもありがとうございます。



青年海外協力隊員 からの近況



残暑お見舞い申し上げます

ラジオジャパンが伝えるニュース

では、日本は猛暑でエアコンの故障が多発とか。CNNの映像では、全員うちわ片手のオフィスがあったり。皆様がいかにお過ごしでしょうか。こちらミンダナオ島は年中夏の陽気なので、すっかり暑さにもなれ、いたって元気です。

さて今日は近況をお伝えします。この程、私の勤務先のサン・ニコラス大学計算機科学学部にて、最新のネットワーク機能を備えたコンピュータ実習教室が完成し、7月20日に竣工披露式を行いました。当日、私はデモ・レクチャーを担当しました。写真はお祓いの様子で、カトリックの司教様がパソコンに聖水をかけているところです。お祓いの効あってシステムは順調で、毎日機能的に運用されています。

プロジェクトが一段落したので、今月からはネットワークに関するセミナーを受け持ちました。

それから、あき教室の一部を利用して、主に日本の文化と科学技術の紹介をする、展示室兼図書室を設け、週三日、学生、講師達に開放しています。ギャラリーでは、6月に視察した、シンガポールでのテレコミュニケーションショウの様子や、私のホームタウンとして、鎌ケ谷市の市民生活を紹介したりしています（赴任前、鎌ケ谷市国際交流協会にいただいた英文解説入りの市勢要覧が大変役に立ちました）。ライブラリーではマニラの JICA（国際協力事業団）事務所や JICC（大使館内の日本文化情報センター）から送られてくる日本紹介の英文グラビア雑誌が好評です。また近々、学生や、日本に技術研修のため派遣予定の講師を対象に、「たのしい日本語クラス」も開講予定です。

'94年8月 建川 "Duke" 大輔

青年海外協力隊 平成4年度2次隊 フィリピン派遣
職種：電子計算機



海外研修 19日間の貴

ワカタネ市での貴重な体験

第二中学校教諭 宮原 茂喜

成田からオークランドに着くと、ワカタネ市までは20人乗りの小型飛行機での移動でした。緊張しながらの空の旅でした。到着すると、マオリ族の高校生が歌と踊りで歓迎してくれ感激しました。ホウェールアイランドとホワイトアイランドが見える校長先生の家は海岸のすぐそばで、朝早く起きてよく散歩しました。女性の校長先生とご主人はとても親切でいろいろと面倒を見ていただきました。学校では日本文化の紹介の授業をしましたが、日本に対する興味や関心が高く、楽しく授業をすることができました。日本とニュージーランドの教育制度の大きな違いは、児童は5才の誕生日の日に入學して来るので、日本みたいに入学式がありません。又それぞれの理解の程度に応じて進級するので、クラス内に2～3才の年の開きがあるのが普通です。自然と人情味にあふれたワカタネ市での研修は忘れられない思い出になりました。これからも交流が深まることを期待しています。

生徒の笑顔は世界共通



8月1日から19日間、市内在勤の5名の先生方が“鎌ケ谷市教員海外派遣研修”に参加されました。ワカタネ市内の5校の学校に分かれ、それぞれの学校や、ホームステイ先で、熱い歓迎と、素敵な体験をされ、その中で、多くの思い出を作り、帰国されました。

Four teachers
Whakatane
education
home with

大自然に気持ちははすみずみ



思い出多きワカタネ

鎌ケ谷市教育委員会 宮寄

N・Z、ワカタネ市に着いたのは、8月2日でした。三週間の滞在のスタートです。回りの人達は、当然ながらみんな英語で会話をしております。外国へ来た実感と共に、英会話のできない私は不安でいっぱいでした。ホームステイ先のジェフ校長先生宅の7人の家族は、私を温かく迎えてくれると共に家族と同様に生活させて下さいました。会話は、辞書を片手に話をし、時には、長男メソー君の高校で学んだ日本語を交えながらの話の楽しい一時でもありました。

長女のエマさんが、マオリ語を教えてくださいました。学校からマオリ語が国語の授業に入っているのです。「はよう」「こんにちは」「こんばんは」全て「キオラ」です。英語の苦手な私は、この「キオラ」に救われました。学校を訪問しても最初のあいさつは「キオラ」で通しました。親しみと共に、笑談となりました。思い出の多いワカタネ市に改めて訪問したいと思っております。

美しきニュージーランドでの忘れがたき体験

鎌ケ谷小学校教諭 石黒 茂

一面に広がる牧場の緑と入り組んだ海岸線。成田から10時間、空の下を見ながら、来るべきワカタネでの日々少しの不安と大いなる期待を抱いていました。ここで、日本の文化について教えたり、ワカタネの校長先生方との教育フォーラムなど3週間の日程で組まれていました。英語で子供達に教えたことがない自分としては、「本当にできるのかなー」という気持ちでいっぱいでしたが、ホームステイ先のポール校長先生を始め、家族の皆さん、オタキリスクールの先生方が暖かく迎えて下さいました。1週目は、すべてのクラスの授業を参観させていただきました。2週目は、凧作り、理科、体育、折り紙などを教えながら子供たちと朝から放課後まで共に過ごす中で、会話能力以上に心を通い合わせていくことの大切さをしみじみと味わいました。違った文化的背景にある教育を中から直接体験させていただくチャンスを与えていただいた鎌ケ谷市に心より感謝申し上げます。

理科の授業風景



貴重な体験

Kamagaya Teachers Visit Whakatane, N.Z.

ers and an educational officer from Kamagaya council visited this summer. The purpose of the visit was to exchange ideas and information. They were warmly welcomed and came wonderful experiences and beautiful memories.

現地の新聞に大きく掲載されました



EDUCATION OFFICER FOR the Kamagaya council, Mr Kiyoshi Miyazaki, presents the MP for the Eastern Bay of Plenty, Mr Tony Ryall, with a traditional Japanese mask representing long life and happiness.

Bay MP receives gift

The MP for the Eastern Bay of Plenty, Mr Tony Ryall, was presented with a gift last week from a representative of the Japanese group in the area at present visiting local schools.

The education officer from the Kamagaya council, Mr Kiyoshi Miyazaki,

presented Mr Ryall with a traditional hand-made pottery mask on behalf of the Kamagaya council's superintendent of education, Mr Saburo Sakai.

The mask represented the long life and happiness that come from many years of good, diligent work.

At present Mr Miyazaki and four teachers are in the Eastern Bay observing the New Zealand education system and teaching local children about Japan.

The Whakatane woman who helped organise the visit, Chikako Miyashita, said Mr Ryall had supported the educational visit

throughout and without him she would have been stuck.

Mr Ryall said he had received positive feedback from some of the schools about the visit and he hoped it would become a regular thing between the two communities.

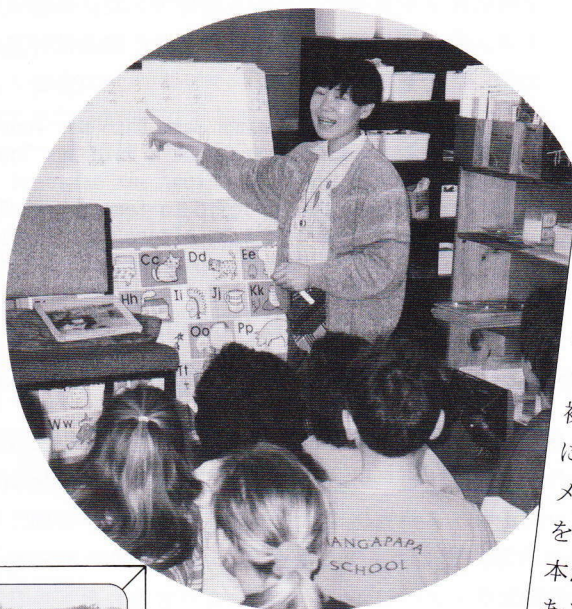
アフター3の過ごし方

第五中学校教諭 小林 修一

冬だと言うのに芝生は青々としており、日中は暖かさを感じるNZ。日本のこの夏の暑さと正反対のこの国で気候以上に日本と違いを感じたことは、よく言われる「豊かな生活」という言葉です。私のお世話になったホストファミリーの御主人は、インタミディエイト（日本の中学校）の先生ですが、昨年のNZの陶芸コンクールで優勝した陶芸家でもあります。奥様もカメラ展（椿の花）に向け広々とした庭の手入れに精を出しています。ミュージカルのディレクターを任される美術の先生やトライアスロンの選手である女の先生、ピアノの達人の校長先生等それぞれの先生方が教師という職業に精一杯取り組む以外に、自分の趣味や特技を生かし生活の一部になっている点に、羨ましさを感じました。町の中には日本の製品が多く見られ、日本のすごさを感じながらも、NZとの時差約3時間がゆとりの3時間に思えてしまい、1日が27時間あるような錯覚におちてしまいました。



「山」の書き順は…



数字を日本語で教えています

悲しいほどのなつかしさ

北部小学校教諭 中山 明子

涙、涙の別れになってしまいました。それほどワカタネの良さ、そこに住む人々の優しさに、私の心があためられたからでしょう。

美しい風景、損得の計算なく接してくれる人々。3週間のあいだにどれだけたくさんの感動に出会ったかわかりません。子どもたちのたくましさもあります。屋外を裸足で走り回る子。自分で遊び道具を作って、どろんこになって遊んでいる子。8歳のトビーが刃渡り40センチメートルもあるナタを持ち出して、1人で竹の投げやりを作り上げたのには驚かされました。「ああ、ここには日本が失ってしまったもの、急速に失いつつあるものが、ある」と感じました。

日本の子どもにビデオを見せたら「売っているオモチャは少ないんだろうけど……なぜか、うらやましい」という感想がありました。物質の豊かさでは得られない何かを、日本の子どもも感じたのでしょうか。



英語はとバス研修体験記

彼女の体験談をご紹介します。



今回の旅は初めとても不安でしたが、人々がとても明るく話しやすいため、楽しく過ごす事が出来ました。もちろん広大な自然をも楽しむ事が出来、あつという間の三週間でした。(二階堂綾子)



次は、船で浜松町から浅草に行きました。船の中から下町の東京を見学するという嗜好でした。外国人にとっては、浅草は興味があるようでした。熱心に仲見世通りで買い物をしていました。(添野 良一)

13 volunteer translators took a Hato Bus Tour on the 18th of June. This tour was arranged to introduce the city of Tokyo to foreigners. Most of the participants were visitors from foreign countries and the guide spoke English all the time. Everybody had an enjoyable afternoon learning how to guide their friends in English.

Mr. & Mrs. **Bob Kronser**

去る6月19日、南部公民館において、料理講習会（交流部会）が行われました。今回は、オーストラリア人の Clare McGrath さんがアップルサイダーと生クリームを使ったチキン料理、りんごと豆腐のサラダを披露。Bob Kronser 氏と奥様の Masako さんには本格的なチーズケーキを作っていただきました。当日は、雨にもかかわらず、25名の参加者があり楽しい一日でした。

Ms. Clare McGrath

国際ボランティアの先駆者として

富岡二丁目 古川 秋夫

昭和20年8月、日本はポツダム宣言を受けてアメリカとの戦争を終結しました。そして東京の焼け残った大きなビルは殆どアメリカGHQマッカーサー指令部の管理する事になりました。



1947年当時。オハイオ大学学生の軍曹が英会話の先生をして下さいました。

昭和22年9月、我が市（人口9万木曽川のほとり風光明媚なる観光地）にもアメリカ軍が進駐するとの指令が市当局にあり、市会は直ちに開かれ一般市民との問題特に婦女子に対する暴行が発生するのではないかが主たる議題となり、結論は communication が正しく行われること、その為には英語の出来るすべての人と言っても学校の英語の先生6名、アメリカ帰りの老人1名とスピーキングの出来ない私だけ早速腕章（information）を渡され初めての国際ボランティアの要員として任命されました。町の警察署にはMPがジープで度々立ち寄っても誰も話す事が出来ずわざわざ警察官が自転車で呼びに来る状態でした。

しかし想像していたアメリカ兵は、軍服こそ着ていましたが全く紳士的で、兵舎の中にも自由に入れてくれたり、外を歩く時にはレーション（割り当てられた配給品チョコレートやチューインガム）を子供達に配っていました。私の英語もどんどん上達し、後に英国教会のボランティア貿易商社員として海外に出張し、アメリカの良き人々の好意にひたり夢のようでした。特に英国ヨーロッパ系のアメリカ人は一度友人になるといつまでも真心で接するという古き良き家族主義の伝説があり40年間にわたり、レターの exchange も絶えておりません。戦後の苦しい時代はアメリカが敗戦国日本を援助し、経済大国となった日本は今や貧しい国々の人達を援助する必要があると考えます。

挨拶してみようーその国の言葉で

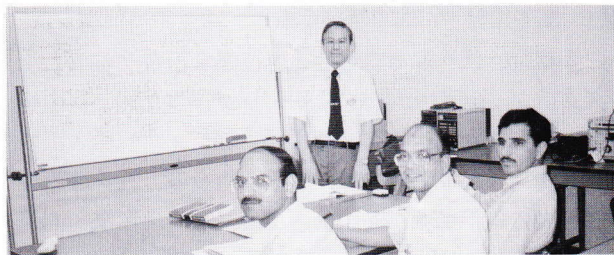
西道野辺13 影山 正光(63)

会社では、いろいろな国から来る研修生に電子関係の技術指導をしていました。研修生との意志疎通は英語なので、朝、教室に入ると"Good morning, Gentlemen. How are you?"などと挨拶をしてから授業を始めるのですが、最初は初対面なのでどうしても研修生の表情が堅く、なかなか打ち解けた雰囲気にならないのです。

研修生をリラックスさせ、活気のある授業にするにはどうしたらよいか考えた結果、英語を母国語としない国からの研修生が圧倒的に多く、クラスも国別構成であったので、研修生の国の言葉で挨拶をしたら親しみを持たれるのではないかと思い、次のクラスに備えることにしました。そこで、会話集から簡単な挨拶の言葉を抜きだして一生懸命暗記しましたが、馴染みのない言葉は忘れやすいので、"おはよう、ごきげんいかがですか?"など、その国の言葉をカンニング・ペーパーよろしく研修で使うテキストの裏に、カタカナで書いておりました。

そして、第一日目の朝、テキストの裏を横目でちらりと見ながら、研修生の国の言葉で挨拶をしました。その瞬間、研修生がにこっと笑い、私の方に親しみのある眼差しを向け、中には自国語で挨拶を返したり、私の発音を直してくれたりしました。また、日本語ではどう言うのかと聞く人もいて、教室内に和やかな空気が広がっていきました。こうなるとしめたもので、授業に入ると質問なども遠慮なく出て、最初から活気のあるクラス・ルームとなったのです。小さな試みが功を奏しました。

以後のクラスにも、その国の言葉で挨拶を交わし、また、互いの国の文化や習慣なども語り合うようにしたので、研修生との心の交流がうまくいき、研修結果は満足のいくものとなりました。ただたどしくてもその国の言葉で挨拶してみましよう。心の扉が開かれますよ。



4年前。パキスタンからの研修生となごやかな教室風景。

投稿規定：25文字×30行以内。題名、住所、氏名、年令（学年）を明記の上、鎌ヶ谷市国際交流協会事務局（市役所3階企画課）まで。記載されたものには、粗品をお送り致します。



市民夏まつり

Kamagaya's Summer Festival was held on August 27.

8月27日(土)貝柄山公園で市民夏まつりが行われました。今年は、市民夏まつり実行委員会と国際交流協会共催による「ビタシカ コンサート」が催され、リズム感溢れるアフリカンミュージックを楽しみました。

昨年同様に設置された「外国人と会話をするコーナー」では三々五々交流する人々で終日賑わっていました。



ビタシカコンサート



テントの下では……

研修部会長の交替についてのお知らせ

研修部会長が富田照子さんから、永年理事として協会の為に寄与いただいている村田源吉さんに変わりました。富田さんには引き続き通訳ボランティアとしてご活躍いただいております。

法人、団体会員のご紹介

平成5年度継続、新規加入ありがとうございました。
 (株)鎌ヶ谷造園土、(株)京葉銀行、(株)住友銀行、(株)第一勧業銀行、(株)千葉銀行、(株)千葉興業銀行、(株)東洋ハウジング、(株)三菱銀行、鎌ヶ谷市自治会連合協議会、鎌ヶ谷ライオンズクラブ、鎌ヶ谷ロータリークラブ、貴光(有)、城山建設(株)、千葉県立鎌ヶ谷西高等学校、(有)フィニックス、永井建設(株)、日本電信電話(株)、船橋信用金庫、丸小建設興業(株)、(有)皆川不動産、(有)エース工業、(有)岡田産業、(有)那須設計工務、(有)フードショップ吉野、(有)保科発條製作所、(株)三和銀行、鎌ヶ谷青年会議所、鎌ヶ谷市体育協会、(株)写真庵

平成6年度新規加入ありがとうございました。

鎌ヶ谷市スカウト連絡協議会、松下工業(株)

*本年度の会費未納の会員は入金をお願い致します。

KIFAパーティーのお知らせ

今年も残すことあとわずか、年に一度、皆様が楽しみにしているKIFAパーティーの詳細が決まりましたのでご案内いたします。お近くに住む外国人のお友達も、お気軽にお誘い下さい。多数ご参加下さい。

日時 1994年11月27日(日)

午後12時～3時(受付 11時30分より)

場所 総合福祉保健センター6F大会議室

会費 会 員 1,500円 非 会 員 2,000円

学生会員 1,000円 学生非会員 1,500円

小中学生 1,000円 外 国 人 1,000円

申し込み 11月21日(月)までに参加費を添えて直接事務局(市役所3F)でチケットをお受け取り下さい。

問い合わせ 国際交流部会事務局(内)550

KIFA WINTER PARTY TO BE HELD NOVEMBER 27

This year, KIFA (Kamagaya International Friendship Association), will hold its annual "international" winter party on Sunday, Nov. 27, from 12:00 to 3:00pm. The location is the same as last year's party: Sogo Fukushi Hoken Center, 6th floor. The Sogo Fukushi Hoken Center is the building located directly behind the city hall. See you there.

ワカタネ(N.Z)をビデオで紹介

まなびいプラザでは、姉妹都市提携候補地、ワカタネ(ニュージーランド)を紹介したビデオをマルチビジョン(100インチの大型テレビ)で上映しています。

ワカタネの面積は千葉県の約8割。この広大な土地には、自然のブッシュをはじめ、きれいな川、透き通った湖のある国立公園と美しい海岸のまち「オホペ」、そして火山の島「ホワイトアイランド」を含む太平洋の島々があります。ビデオでは、これらの大自然を生き生きとした映像で紹介しています。ぜひご覧ください。

上映時間は、午前11時から11時15分までと、午後6時から6時15分までの1日2回。休館日は月曜日。

編集後記

刷り上がった紙面に印刷ミスはないかと、写真と記事のバランスは良いかと一不安と共に反省したり、自画自賛したりと繰り返しながら毎号作っております。姉妹都市提携候補地の決定に伴い、国際交流の動きも活発になると同時に部員一同ニュース集めに東奔西走しております。今号も大勢の方々のご協力を得る事ができましたが、限られた紙面で全てをお伝えできないのが残念です。取材に応じて下さった皆様に心から感謝申し上げます。(R, I)